

# PAXCDS 警報出力カード

## 取扱説明書

第一熱研(株)

この説明書はPAXメーター専用の警報設定用プラグインカードの取付、機構及び操作に関するものです。警報出力カードとして2点及び4点のリレー出力、4点のシンキングまたはソーシングオ - プンコレクター出力の4タイプがあり、1種類のカードのみを選択使用出来ます。

PAXメーターは通信、警報及びアナログ出力の3機能のプラグインカードを装填できます。各機能カードごとに1~4種があり、いずれも1ヶしか使用できません。

### カードの装填

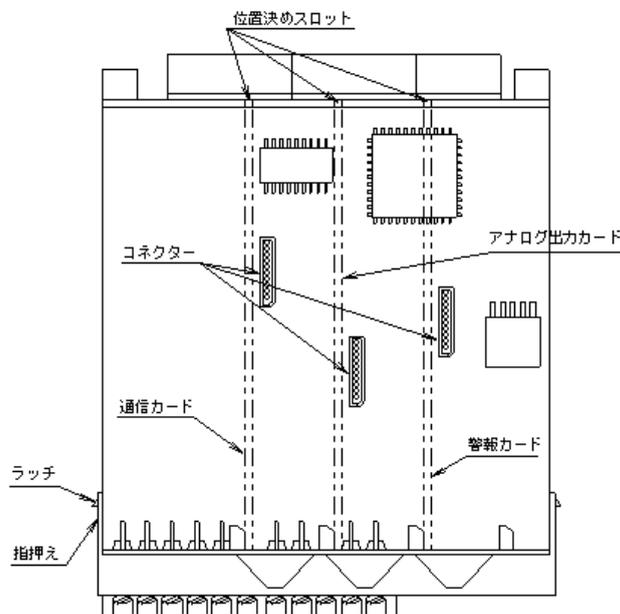


注意：メーターの電子回路には静電気に敏感な部品が多いので、取扱い時は、身体の静電気を金属にアースする等により除去してください。静電気の発生しない清浄な場所でカードのエッジを持って作業してください。ごみや油脂分が付着すると作動不良を起こすことがあります。

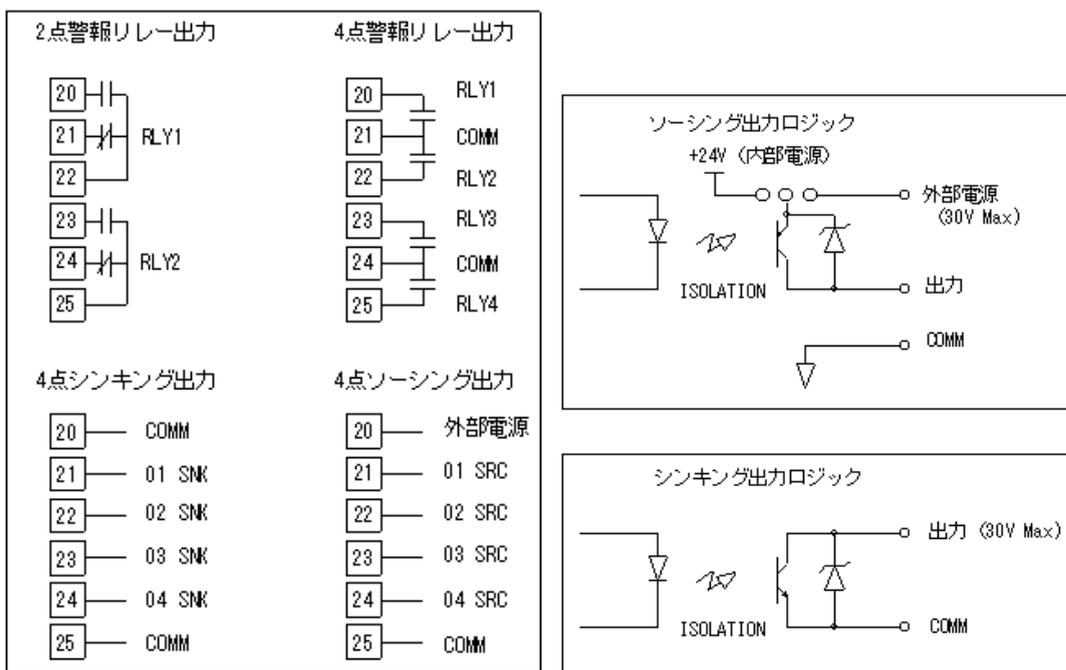


警告：基板には電圧のかかったラインが露出していますので、メーターに触れるときは電源を切ってください。

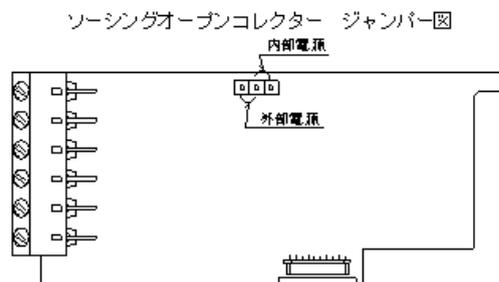
1. 主基板をケース後尾から引き出します。後尾両側の指押えを指で強く押すか、小型ドライバーを用いてラッチ部を押して引き抜きます。
2. カードに応じて接続コネクタの位置が異なります。端子部を後ろにして取付けてください。
3. カードは前部のガイドを表示パネル側のスロットに、後部の端子ブロックを湾曲スロットにそれぞれ合わせ、電気的に確実にセットしてください。
4. アッセンブリーをスライドしてケースに収め、ラッチを確実にしてください。
5. カード付属のラベルを計器の底面に貼って下さい。上面の換気孔は塞がないようにして下さい。



## 結線方法



ソーシングカード使用時は、電源供給方式に従い、下図を参照してジャンパーをセットしてください。



## 仕様（4種）

応答時間： 99%応答 200msec.max.（デジタルフィルタ及び内部ゼロ補正不使用時）  
700msec.max.（内部ゼロ補正使用時）

2点リレーカード：PAXCDS10

タイプ： C接点

絶縁：2000Vrms/min，動作電圧：250V

接点定格：120/240VACまたは28VDC 5A/1点（但しトータル5Aを超えないこと）

寿命：10万回以上、誘導負荷に対してはRC スナッパ使用により延長できる

4点リレーカード：PAXCDS20

タイプ： A接点

絶縁：2300Vrms/min，動作電圧：250V

接点定格：250VACまたは30VAC 3A トータル4Aを超えないこと

寿命：10万回以上、誘導負荷に対してはRC スナッパ使用により延長できる

4点シンキングオープンコレクター：PAXCDS30

タイプ：絶縁シンキングNPN トランジスタ 4ケ

絶縁：500Vrms/min 動作電圧：50V

定格：100mA max @ $V_{SAT}=0.7V_{max}$  .  $V_{MAX}=30V$

4点ソーシングオープンコレクター：PAXCDS40

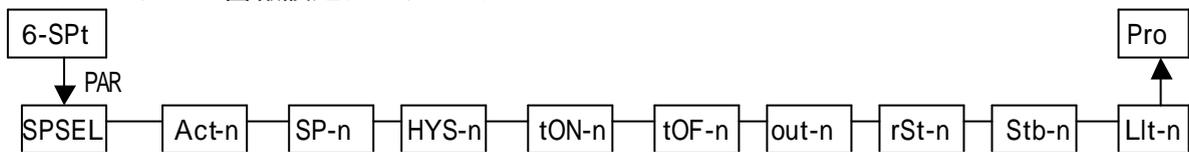
タイプ：絶縁ソーシングPNP トランジスタ

絶縁：500Vrm/min 動作電圧：50V

定格：内部電源 24VDC $\pm$ 10% , トータル 30mA max

外部電源 30VDC max 各出力毎 100mA max

モジュール6 警報設定プログラム



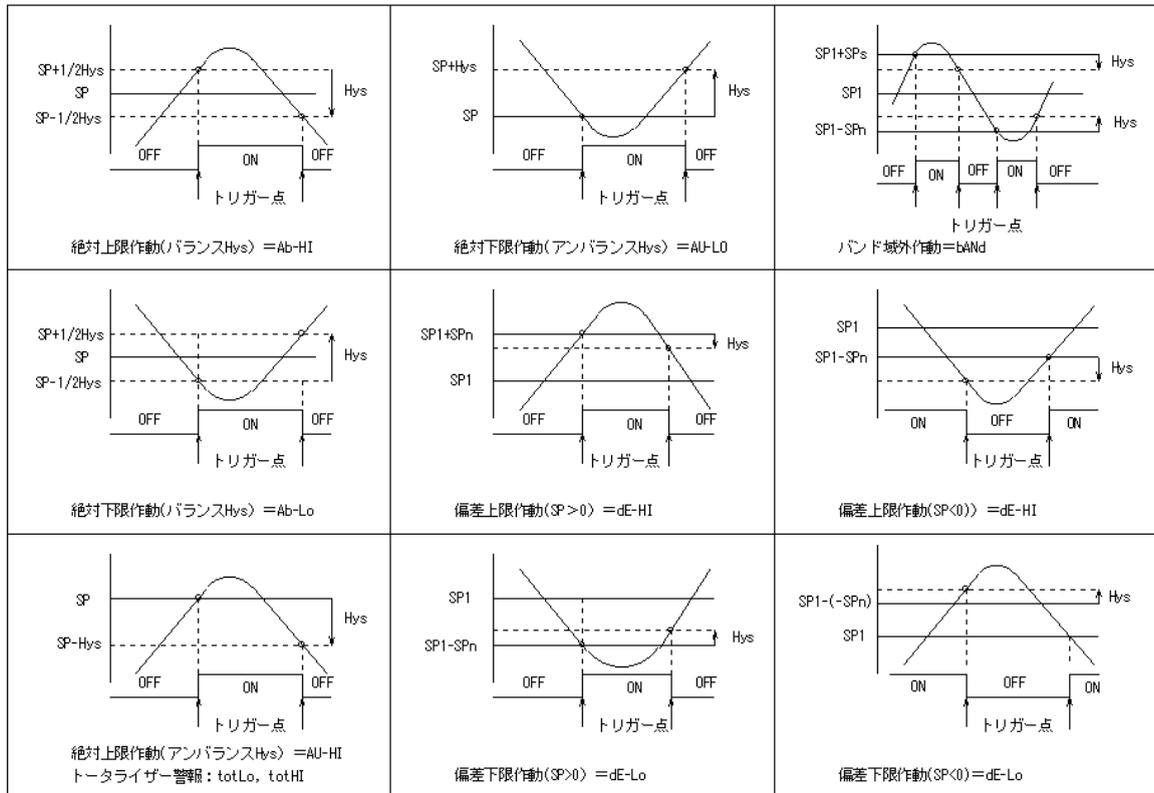
STEP	メニュー	表示	表示の説明
1	設定点選択	SPSEL NO SP-1	警報不使用はNO、使用時 SP-1---SP-4 まで選択
2	動作決定	Act-n OFF Ab-HI	不使用はOFF、第一設定点は、Ab-HI or Ab-L0 第2 設定点は、AU-HI (L0) or dE-HI (L0) で設定 <sup>*1</sup> トータライザーは totHI or totLO で設定
3	設定値	SP-n 10.00	-19999 ~ 99999
4	ヒステリシス	HYS-n 0.02	1 ~ 65000 作動形態図参照
5	ON 遅れ時間	tON-n 0.0	0.0 ~ 3275.0sec
6	OFF 遅れ時間	tOF-n 0.0	0.0 ~ 3275.0sec
7	出力ロジック	Out-n nor rEu	nor はノルマル出力 rEu はリバース (逆接点) 出力
8	リセット	RSt-n Auto LAtC1	Auto は通常動作で、設定点で自動的に ON/OFF LAtC1 は、設定点で ON し、キー又は信号で即解除 LAtC2 は、LAtCh1 同様操作で OFF 設定点で以下になったとき遅れて解除
9	スタンバイ	Stb-n NO	YES のとき起動後設定点に到達するまで警報が出ない
10	アナウンシエータ	Lit-n nar	OFF で警報ランプ点灯せず nor で警報時警報ランプ点灯 rEu で警報解除時ランプ点灯 FLASH で警報時ランプがフラッシュ

\*1 AU-HI (L0)は第1 設定点を補完するもので、絶対値で設定 H-Hi ,L-Lo の用途に用います。

dE-HI (L0)は上記同様で、デヴィエーション(偏差)方式で設定します。

## 警報作動形態図

リバース出力ロジック rEu にすると下図が反転します。



## オールタネート警報

必要に応じ、設定値のオールタネートリストの保存及び呼出しが出来ます。オールタネートリストにより設定点の追加が可能です。(オールタネートリスト中の設定No., ターミナルNo.はともに変更は出来ません) オールタネートリストはモジュール 2 の LISt からキーまたはユーザー信号によって動かすことが可能です。オールタネートリストを選択した時、メインリストは動作しません。メインとオールタネートの切替時は警報の自動リセット動作は選択した新値に対して作動します。ラッチされた ON 警報は通信中はラッチ状態で保持され、ユーザー信号またはキー入力により、リセットされます。キー又はユーザーで使用中のリストを表示できます。